

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：マンモグラフィにおける月経周期に伴う乳腺変化を考慮した至適撮影期間の検討
<p>1. 研究の対象</p> <p>2020年12月～2021年3月に昭和大学病院でマンモグラフィ撮影を行った症例のうち50歳未満かつ化学療法を行っていない症例</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>マンモグラフィ検査は、乳腺組織を広げ明瞭な画像を撮影するために、乳房を圧迫します。圧迫を行う際に患者さんが痛みを訴えるシチュエーションは、患者さんや撮影する日によって異なる場合を経験します。また痛みを伴う際に、患者さんが退避動作を取ることで、再撮影に至る場合があります。痛みの原因には様々な要因が考えられますが、本研究では月経周期に伴う乳房の張りについて着目しました。月経周期に伴い卵胞期ではエストロゲンの値が高くなり乳管とその分枝が目立ってきます。次に来る黄体期ではエストロゲン、プロゲステロンの値が上昇し腺房の増殖、腺腔は分泌物を貯留、拡大微小血管の血流増加、間質組織の浮腫などが起こります。そして月経前になると乳房の緊満感いわゆる胸の張りにつながります。そこで、マンモグラフィ検査の圧迫時に発生する痛みと再撮影の関連性および患者さんの痛みと月経周期の関連性について検討します。統計ソフトを用いて、ペインスケール評価値における再撮影の有無および月経周期の測定値について統計解析を行います。</p> <p>研究期間</p> <p>医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2022年3月31日まで</p> <p>用語説明</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>情報：マンモグラフィ画像、自作ペインスケールによる痛みの評価値、マンモグラフィ画像データ、</p>

患者情報（年齢、性別、月経周期、化学療法の有無）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院放射線技術部 研究責任者氏名： 西谷 万柚子

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8454